

COE & AOB Seminar

「グローバルジオダイナミクスと測地学」

Global Geodynamics and Geodesy

boost = 10000

佐藤 忠弘 教授 (国立天文台・水沢VERA観測所)

Prof. Tadahiro Sato (National Astronomical Observatory, Mizusawa VERA Observatory)

2006年11月17日(金) 10:30 — 12:00

地震・噴火予知研究観測センター(別館)第一会議室

November 17, 2006 (Fri) 10:30 — 12:00

Research Center for Prediction of Earthquakes and Volcanic Eruptions

Lecture Room #1 (AOB annex)

要旨

近年、測地学の分野における計測技術の進歩は著しく、その高精度な観測は、地球の流体圏と固体圏とが広い周波数帯でカップリングしている様子を明らかにしてきた。一方、計測技術の進歩は、測地、地震、気象、海洋といった従来の学問の分類の壁を超えた議論を必要としている。本講演では、上記の状況を

- ・J2変動と地球流体の運動、海底圧力観測の重要性
- ・重力の年周変動と陸水、海洋変動
- ・地球環境変動と測地計測
- ・地球自由振動観測の新たな展望

を例にとって紹介する。

(c) wolfk@gfz-potsdam.de

東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター Tel: 022-225-1950 (代表)

<http://www.aob.geophys.tohoku.ac.jp/education/seminar/aob-seminar/>

miura@aob.geophys.tohoku.ac.jp

